

須坂高校 探究通信

10月23日(月)の「総合的な探究の時間」にて、当日までの自分たちの探究活動の成果を発表する「第1次発表会」を校内で行うことを予定しています。それに伴い、夏休みまでの成果の確認と今後の活動計画について、各班考え活動しています。今回も、夏休みに行ったフィールドワークの様子をお伝えします。

川中島の戦いの勝者とは？

私たちのグループでは川中島の戦いについての研究をしています。この地域で一番身近な大きい戦いである川中島の戦いについて調べてみたいと思ったからです。「戦国時代の戦の勝利の定義はなんなのか？」「川中島の戦いの勝者は？」「最も得をしたのは誰なのか？」等様々な問いが浮かんでいます。8月18日の午前中に長野市立博物館の学芸員さんにインタビューをしに行きました。インタビューを通して、「川中島の戦いはまだあまり研究が進んでおらず、実態を解明するのは難しいということ」、「時代の影響により様々な創作が含まれている可能性があること」が新たに分かりました。今後は川中島の戦いが起こっていた間の他の戦国大名の動きを調べ、誰がこの戦いで最も得をしたのかを調べていきたいと思っています。



大ヒット映画の特徴とは？

「大ヒットしている作品とそうでない作品とではメディアや企業の売り方に違いがあるのではないか。」そのような考えからこのテーマで探究を行っています。特に映画の「予告」に着目し、映画の予告が存在する意味を自分たちで退官するために、夏休みに実際に映画館に行き、予告を事前に見る人と見ない人に分かれた上である映画を見てきました。視聴した後にグループ内でディスカッションをしました。そして「予告を見ることで事前に世界観が分かること」「予告は制作側が着目してほしいポイントが分かること」「予告の情報が事前に頭に入っていることで、予告になかった展開に意外性や驚きが生まれて、さらに面白く感じること」を発見しました。今後は予告がどの程度の効果を持っていると考えているか知るために、映画の広報の方にインタビューを行ったり、広告費と大ヒット映画の相関性等を考えていきたいと思っています。

